

●誰もが一度は足を運んだ事のあると思われる喫茶店。一昔前までは市民が気軽に立ち寄り雑談を交わしたりする憩いの場でもありました。しかし、現在ではコンビニやファーストフード店が急増した事により喫茶店の数は激減してしまいました。日々忙しく動いている時代だからこそ、喫茶店と言う場所ですら一時間経過し、落ち着いてみるのも良いのではないのでしょうか？と言う事で今回は喫茶店を特集してみました★

オホーツクの魅力ある喫茶店

●まず始めに喫茶店やコーヒーについて軽くご説明をさせていただきます♪ ●喫茶店とは「喫茶を提供する店」という意味で、主に店内でコーヒーや紅茶など、酒類を除く飲み物や茶菓を提供する飲食店（茶房）を言い、食品衛生法施行令第35条では、喫茶店営業を「喫茶店、サロンその他設備を設けて酒類以外の飲み物又は茶菓を客に飲食させる」営業とされています。●「コーヒー」はアラビア語で「カフワ」が転訛したもので、元々ワインを意味していたカフワの語がワインに似た覚醒作用のあるコーヒーに充てられたのがその語源と言われています。それでは我々、ドカン取材班が取材してきたオススメ喫茶店をご紹介します♪

北見市
珈琲工房 ばんかむ
 北海道北見市美山町39-55
 TEL.0157-25-2010
 定休日/第2・4木曜日
 営業時間/8:00~23:00
 駐車場/12台完備

「珈琲工房・ばんかむ」は、昭和49年から喫茶店を営む35年の老舗です。ジャズが流れる店内の壁一面には、地元の写真家や画家の様々な作品が定期的に入れ替え展示されています。我々、ドカン取材班はマスターお薦めのコーヒーを2種類頂きました♪

一杯目は、「ターキッシュコーヒー」(400円)。ターキッシュコーヒーはトルコで飲まれているコーヒーなのです。作り方がちょっと変わっていて「イブリック」と言う器具を使いコーヒー豆を細かく(粉末近く)したものを「イブリック」の中にお湯を入れ、沸して、その上澄みを飲むコーヒーなのです。普通のコーヒーとは違いカフェインが飛び、ほどよい苦みが食後の一杯にはとても良く合います。

二杯目は、「ルシアンコーヒー」(通称:ホットモカジャバ)(460円)。このコーヒーはロシアで飲まれているもので、コーヒーにココアを足したものです。「コーヒーはちょっと苦手」という方にも大変飲みやすくお薦めです。飲んだ最初はココアのほのかな甘さを感じられ、後味はコーヒー特有の苦みもしっかりと味わえるコーヒーでした。

その他にもブレンドコーヒー(400円)やブルーマウンテンNo.1(460円)などのコーヒーや紅茶を各種取り揃えており、コーヒー豆は小売販売をしています。

豊富なフードメニューやデザート類は、そのすべてがお店の手作りというこだわりようです♪また、朝からの営業なので「モーニングセット」(650円)もおススメです。バターたっぷりの厚切りトーストに、ハムエッグとサラダとコーヒーが付いてきます☆ちょっと贅沢な朝を迎えられるお得なセットメニューです。

たまには日常の喧騒から逃れ、心地よいジャズに包まれた店内で美味しいコーヒーを味わいながら絵画や写真を鑑賞し、ゆったりとした時間を過ごしてみたいかがでしょうか★



北見市
アングルハウス
 北海道北見市高栄東町1-24-14
 TEL.0157-23-7582
 定休日/第1・3木曜日
 営業時間/11:00~22:00
 駐車場/6台完備

「アングルハウス」は、全面ガラス張りで自然光が惜しみなく降り注ぎ、アンティーク雑貨が並べられた店内は、ゆっくりと静かに過ごしたい時に行きたくする雰囲気を持つオススメのお店です★

コーヒー、紅茶の種類も豊富でアレンジも多種多様♪特にオススメなのがマスター渾身の手作りケーキ♪(各種500円)常時5種類程の美味しそうなケーキがディスプレイされています。ドカン取材班はさっそくケーキを頂きました☆

まずは「シブースト」、カスタードクリームの中にリンゴが入っており、上にはカラメルがかかっているケーキです。味はカスタードの甘みの中に、リンゴの酸味がアクセントとなり上品で食べやすく、上のカラメルは苦み・甘み共に控え目で香ばしさがケーキ自体の味を引き締めていてとても美味しいケーキでした。このシブーストはとても手間のかかるケーキのようで完成までには12時間はかかるそうです。是非、皆さんも一度ご賞味あれ!! また、季節ごとにケーキの種類が変わります。

1月から5月までは春を早くも感じさせる2種類の和菓子風ケーキ。まず一つ目は、「桜花」。桜餅を洋風にアレンジした見た目が華やかなケーキ♪ケーキの上には道明寺をあしらいつつも綺麗な仕上がりで甘さ控えめの春を感じるの出来る美味しいケーキでした☆

二つ目は、あずき・抹茶を使用したケーキ「嵐山」。このケーキは層になっていて下からあずきと抹茶のムース、その上には白あん和白ゴマのムース、さらに上にこしあん和黑ゴマのムース、一番上に「食べるお茶ゴマ」が振りかけてあり、まさに大人の味のケーキでした★

夏は「ババロア」、「アイス」、「シャーベット」、秋・冬は「マロンパイ」、「アップルパイ」と季節に合った様々な食材を使用したケーキやデザートがラインナップされていて、すべて持ち帰りもできます。隠れ家的な喫茶店で美味しいコーヒーやケーキを食べながら自分にとっての大切な時間を過ごしてみたいかがでしょうか★



常呂町
cafe しゃべりたい
 北海道北見市常呂町常呂204
 TEL.0152-54-3942
 定休日/月曜日
 営業時間/11:00~18:00
 駐車場/近隣に駐車場有

「Cafeしゃべりたい」は、常呂町に昭和55年にオープンした、オホーツク海を真近に見る平屋のお洒落な喫茶店です。

マスターが他界し、店を閉めていましたが大勢のお客からのラブコールを受けてママが再度営業を始めました。いつも店内は賑わっていて、当社員の中にも「しゃべりたい」のファンがいます☆

中でも人気のメニューが「流水ソーダ」(680円)です。オホーツク海のすぐ近くにあるお店に相応しい品名で、青いソーダは海をイメージし、その上にダイナミックに乗ったアイスクリームが流水をイメージさせる迫力あるクリームソーダです。4年ほど前に公開されたカーリング映画「シムソンズ」で、主演の加藤ローサがこの流水ソーダを美味しく飲んでいた姿を覚えている方もいると思います。その影響もあって、観光客は必ず注文される程の人気商品です。アイスとソーダの間に時間と共にアイスが溶け出して自然とシャーベット状になり、その部分が特に最高でした☆

そしてもう一品、特に人気のメニューがカレーです。このカレーは本当に絶品です。今回は季節限定メニューの「カキフライカレー」(1,080円)を頂きました。カレーの上にカキフライが乗っているシンプルなカレーなのですが、とてもコクがあるのに優しい味のカレーです。カキが採れる11月から3月位までの季節限定メニューで、サラダと一緒に付いてきます。このサラダにはロメインレタスを使用しているようで、色が濃くてホウレンソウのようなレタスとのことです。今回は定期的に食べることができなかったのが心残りでした。また、サラダに使用されるドレッシングはこだわりの自家製で、少し酸味を効かせたアッサリした味です。

他にも、4月から12月位までの季節限定メニュー「ホタテフライカレー」等もあり、カキやホタテ等の様々な食材は、地元常呂町で採れた新鮮な食材を使用しています。いわゆる地産地消です。喫茶店好きな方は季節ごとに足を運び、オホーツクの季節の味を堪能してみたいかがでしょうか？



網走市
軽食&喫茶 停車場
 北海道網走市北浜番地
 JR北浜駅構内
 TEL.0152-46-2410
 定休日/火曜日
 営業時間/11:00~20:00
 駐車場/15台程完備

網走から国道244号を海沿いに斜里方面に向かうと、左手に見えるJR網走線北浜駅構内にある喫茶店です。北浜駅はオホーツク海に一番近い駅(海辺まで20m)で網走線の中でも最も歴史のある駅なのです。昭和61年(1986年)7月15日から「軽食&喫茶 停車場」として、ここ北浜駅で営業を始めたそうです。店内はとてもアンティークでタイムスリップしたかのような錯覚になります。店内には昔の列車で使われていた物が所狭しと並んでおり、窓から外を眺めると、そこには線路と広大なオホーツク海が目前に広がります★

まず最初に頂いた美味しいブレンドコーヒー♪このアンティークな店内の中で飲むコーヒーはとても時間がゆっくり流れてい

くのが感じられて、コーヒーや食べ物をより美味しくさせてくれます。飲み物のメニューも35種類程あり、迷ってしまうくらい豊富です。

次に、マスターお薦めの「オムライス」(800円)と、メニューに店名が入る「停車場ランチ」(850円)を頂きました☆オムライスは見た感じは普通のオムライスなのですが、食べてみてビックリ!!オムライスの中身が海鮮♪さすがオホーツク!!と言った感じです。その中身はエビ、イカ、アサリなど具沢山の玉子はふわふわトロトロ、その上にはケチャップではなくデミグラスソースがかかっています。このデミグラスソースが具材にとっても良く合います★

次は「停車場ランチ」。店名が入るだけあって、とてもお得感があり、ボリュームも満点♪

ハンバーグ、目玉焼き、サラダ、ご飯、味噌汁、コーヒーのセットメニューとなっています。

ハンバーグにはデミグラスソースがかかっている、何か懐かしい感じで、味わい深い美味しいハンバーグでした。さらに目玉焼

きは半熟で黄身を破ってハンバーグと一緒に絡ませると、さらに美味しく頂きました。サラダには「停車場特製ドレッシング」が使われていて、これがまた美味しい☆

1日数本停車する列車と、辺り一面のオホーツク海を眺めながら、1分・1秒の時間の流れを感じてみてはどうでしょうか★

